

《ご退職の先生からのメッセージ》

生きているだけで幸せ

Be Happy Just to Be Alive

芝田 英昭 (水彩画家)

SHIBATA Hideaki

感謝を伝えたい

私の人生を顧みるとき、30年以上に及ぶ期間を大学で過ごしてきたことに、今更ながら驚かされます。その長い年月の中で、素晴らしい学生、同僚に出会うことができ、幸せな時間を共有させて頂きましたこと、この場を借りて皆様に感謝いたします。

13年間在籍させて頂きました立教大学コミュニティ福祉学部は、福祉、政策、スポーツを融合させたとてもユニークで魅力ある学部で、私自身、大いに研究への刺激を受けました。特に、福祉学科の先生方は、福祉・医療現場での豊富な実践経験を持たれており、その経験を研究に活かすべく日々努力されている姿は、神々しいばかりでした。

定年退職をするにあたって、改めて研究者人生を振り返ったとき、私の研究はとてもちっぽけで無意味なものではないかと自責の念に苛まれます。まだまだやりたい研究は沢山ありますが、違う形で続けられればと思います。

タスキを繋ぐ

私は、若い頃に陸上競技をやっていたこともあり、時々テレビで競技を観戦することがあります。どちらかといえば、陸上競技は、個人競技のように思われがちですが、リレーや駅伝は、集団競技で、協力・協同の力が勝敗を決める魅力ある競技です。私は、特に駅伝が好きで、箱根駅伝は、毎年テレビにかぶりついて観ていました。立教大学陸上部が、55年ぶりに同駅伝に出場することとなり、今日(1月3日)その勇姿を拝見しました。来年も箱根駅伝に出場し、今年以上の成績を収めることを期待いたします。

さて、私が駅伝を好きになった理由は、もう一つあります。長い距離を一人で走り切るのは、マラソンを見ればわかるように、相当過酷です。しかし、駅伝は、各人が予め決められた距離を走り、次の走者に「タスキを繋ぐ」ことで、任務を次の方に「託す」行為です。駅伝は、人の生き方を投影しているようで、興味が湧きます。

しかし、もし駅伝が、走者の距離が決められておらず、前の走者が倒れない限り次の走者に代われないような競技だったとしたら、走りたい方はずーと走ってしまい、結局2番走者以降は競

技者として育たない可能性があります。何人も、人生においては次の世代を育てる役目を担っていることを自覚し、もっと走りたいと思っても、「タスキを繋ぐ」必要があるように思います。

タスキを繋ぐタイミングを間違うと、失格になります。これもスリリングで面白いです。

セカンドステージに想いを馳せて

現時点（2023年1月）では、退職後に何をするのかは全く未定です。

ゼミの学生曰く、「放浪の画家になっている」、「相変わらずどこかで教えている」、「引きこもっている」、「徘徊している」、う～ん、いずれも可能性があるので一概には否定できません。想像するよりも、あるがままを受け入れようと思います。ケセラセラ！

改めて、この場を借りて皆様に感謝を申し上げます。

ありがとうございました！

これまでの研究活動等

1. 学会活動および社会的活動

年 月 ～ 年 月 (和暦)	学会・団体の機関名, 役職名等
〈学会活動〉	
1985年4月～2011年3月	日本社会福祉学会会員
1987年4月～2021年3月	社会政策学会会員
1987年4月～現在に至る	日本社会保障法学会会員
1987年4月～2021年3月	ニュージーランド学会 同幹事
2018年4月～現在に至る	日本医療福祉政策学会会員 2018年4月～2020年3月 同幹事 2020年4月～2022年3月 同会長
1995年4月1日～2009年3月	日本社会保障研究会 主催
2009年4月～2021年3月	日本社会保障政策研究会 主催
〈社会的活動〉	
1991年4月～1998年3月	患者の権利法を作る会 同世話人
2003年4月～2005年3月	福井県三方郡三方町介護保険計画策定委員会 同委員長
2009年4月～現在に至る	自治体問題研究所 同理事 2011年4月～2022年3月 同副会長 2022年4月～現在に至る 同顧問
2009年4月13日	衆議院厚生労働委員会「医療保険制度の安定的運営を図るための国民健康保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出）」審議に参考人として招聘され出席。 意見陳述 9:45-10:00 衆議院第16委員室
2013年4月～2018年3月	医療生協さいたま 社会貢献助成委員会 同委員長
2017年4月～2019年3月	埼玉県富士見市民大学 同講師
2019年4月～2020年3月	医療生協さいたま理事会 学識者理事
2020年4月～2021年3月	埼玉県地域再犯防止推進モデル事業 学識者委員

2022年4月～現在に至る	公益財団法人やどかりの里 やどかり研究所 同研究員
〈在外研究〉	
2016年4月～6月	Portland State University, Invitation Lecture of The PSU Center for Japanese Studies, USA. Visiting Researcher (アメリカ合衆国オレゴン州立ポートランド大学日本研究所客員研究員)
2001年9月～2002年8月	Victoria University of Wellington, The Faculty of Humanities and Social Sciences, New Zealand. Visiting Researcher (ニュージーランド国立ビクトリア大学人文科学部客員研究員)
〈テレビ出演〉	
2009年3月12日(第2713回)	NHKクローズアップ現代「病院に行けない子どもたち」スタジオコメンテーター
2009年2月23日	NNNドキュメント シリーズ生命の値段(2)「増える国保難民」スタジオ出演
2008年1月21日(第2523回)	NHKクローズアップ現代「命が守れない～国民健康保険・滞納急増の裏で～」スタジオコメンテーター

2. 研究業績

著書・論文・学会発表等の別	題名	発行又は発表年月(和暦)	発行所又は発表場所	掲載書・誌名等
〈著書〉				
(単著)	『占領期の性暴力…戦時と平時の連続性から問う』	2022年12月	新日本出版社	全320ページ
(単著)	『社会保障のあゆみと協同』	2022年6月	自治体研究社	全160ページ
(単著)	『くらしと社会保障』	2021年9月	日本医療福祉生活協同組合連合会	全116ページ
(編著)	『検証：介護保険施行20年～介護保障は達成できたのか』	2020年12月	自治体研究社	全245ページ
(単著)	『医療保険「一部負担」の根拠を追う』	2020年6月	自治体研究社	全178ページ
(編著)	『新版 基礎から学ぶ社会保障』	2020年3月	自治体研究社	全326ページ
(共著)	『高齢期社会保障改革を読み解く』	2018年8月	自治体研究社	13-48ページ
(編著)	『増補改定 基礎から学ぶ社会保障』	2016年3月	自治体研究社	全248ページ
(共著)	『日本国憲法の大義——民衆史と地域から考える15氏の意見』	2015年7月	農文協	104-112ページ
(編著)	『介護保険白書——施行15年の検証と2025年問題への展望』	2015年4月	本の泉社	全256ページ
(共著)	『戦争と福祉についてボクらが考えていること』	2015年2月	本の泉社	14-29ページ

(編著)	『安倍政権の医療・介護戦略を問う』	2014年6月	あけび書房	全152ページ
(編著)	『3.11を刻む——医療・介護現場から』	2013年8月	文理閣	全260ページ
(編著)	『基礎から学ぶ社会保障』	2013年4月	自治体研究社	全248ページ
(単著)	『国民を切り捨てる「社会保障と税の一体改革」の本音』	2012年2月	自治体研究社	全158ページ
(編著)	『国保はどこへ向かうのか——再生への道を探る』	2010年3月	新日本出版社	全197ページ
(単著)	『新しい社会保障の設計』	2006年10月	文理閣	全254ページ
(共編著)	『タタミの上で死なせたい』	2006年2月	文理閣	8-124ページ
(単著)	『社会保障のダイナミクスと展望』	2005年1月	法律文化社	全135ページ
(単著)	『社会保障の基本原則と将来像』	2004年3月	法律文化社	全189ページ
(編著)	『福祉国家崩壊から再生への道』	2001年2月	あけび書房	全221ページ
(単著)	『これからの社会保障』	1999年10月	かもがわ出版	全160ページ
(編著)	『幸齢社会への挑戦』	1996年8月	かもがわ出版	全246ページ
〈翻訳〉				
(監訳)	『ニュージーランド福祉国家の再設計』	2004年12月	法律文化社	全394ページ
〈論文〉				
(単著)	国家権力の下で蹂躪された人々、特に女性への性暴力と人権を考える	2022年8月	やどかり出版	精神保健福祉ジャーナル響き合う街で, 102, 23-31
(単著)	生命の尊厳と人権を問う	2022年5月	やどかり出版	精神保健福祉ジャーナル響き合う街で, 101, 43-50
(単著)	占領期の性暴力 その2(改題)	2022年3月	立教大学コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部紀要, 24, 1-24
(単著)	敗戦期の性暴力 その1	2021年11月	立教大学コミュニティ福祉研究所	コミュニティ福祉研究所紀要, 9, 51-75
(単著)	社会保障と人権	2021年8月	おかやま人権研究センター	人権21. 調査と研究, 271, 28-33
(単著)	社会保障と人権「自助・共助・公助」論の欺瞞を糾す	2021年5月	全国障害者問題研究会	みんなのねがい, 667, 22-25
(単著)	全世代型社会保障検討会議最終報告を読む	2021年6月	自治体問題研究所	住民と自治, 2021, 6, 11-17
(単著)	全世代型社会保障の本質に迫る	2021年1月	中央社会保障推進協議会	社会保障, 495, 2-13
(単著)	社会保障における「自己責任」の本質と目的	2020年11月	立教大学コミュニティ福祉研究所	コミュニティ福祉研究所紀要, 8, 35-51

(単著)	今、求められる社会&医療パラダイムシフト～介護分野の「生産性向上論」と「専門性」のジレンマ	2020年10月	医学通信社	保険診療, 1571, 21-25
(単著)	人権としての社会保障構築に向けて	2020年8月	日本婦人団体連合会	女性白書, 2020, 34-39
(単著)	介護保険の根源的な課題とこれからの見直し	2020年8月	自治体問題研究所	住民と自治, 2020, 8, 8-12
(単著)	自己責任を助長する全世代型社会保障政策を撤回し、安全・安心の地域医療を	2020年3月	日本医療労働組合連合会	医療労働, 643, 2-8
(単著)	全世代型社会保障への転換の目指す方向と課題	2020年3月	立教大学コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部紀要, 22, 15-42
(単著)	2020年の日本経済をどうみるのか	2020年3月	新日本出版社	経済, 293, 15-43
(単著)	全世代型社会保障の本音と課題2	2020年2月	和歌山地域・自治体問題研究所	わかやまの住民と自治, 315, 5-8
(単著)	全世代型社会保障の本音と課題1	2019年12月	和歌山地域・自治体問題研究所	わかやまの住民と自治, 314, 1-4
(単著)	人生100年時代の社会保障改革「骨太方針2019」から見えてくるもの	2019年11月	日本高齢期運動サポートセンター	高齢期運動ブックレット, 4, 1-24
(単著)	全世代型社会保障検討会議「中間報告」の批判的検討	2019年11月	全国生活と健康を守る会連合会	生活と健康, 1108, 10-20
(単著)	政府の「全世代型社会保障」は何を目指すのか	2019年10月	全国商工団体連合会	月刊民商, 717, 37-42
(単著)	人間の尊厳とは何か	2018年11月	立教大学コミュニティ福祉研究所	コミュニティ福祉研究所紀要, 6, 21-32
(単著)	ニュージーランドのホームレス対策「ハウジング・ファースト」アプローチの成果	2018年11月	新日本出版社	経済, 278, 120-135
(単著)	基礎から学ぶ社会保障…その概念と役割	2018年10月	中央社会保障推進協議会	社会保障, 480, 26-29
(単著)	「我が事・丸ごと」地域共生社会の狙いと地域・自治体の課題(下)	2018年9月	とちぎ地域・自治体研究所	とちぎの地域と自治, 185, 10-15
(単著)	「我が事・丸ごと」地域共生社会の狙いと地域・自治体の課題(上)	2018年8月	とちぎ地域・自治体研究所	とちぎの地域と自治, 184, 2-12
(単著)	加速する在宅への流れと「地域共生社会」が目指すもの	2018年7月	全国保険医団体連合会	月刊保団連, 1273, 4-10
(単著)	ニュージーランドにおける「深刻な住居剥奪」と「ハウジング・ファースト」	2018年3月	立教大学コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部紀要, 20, 19-44
(単著)	社会保障制度基盤を揺るがす「改革」——「地域共生社会」で強調される自助・共助	2017年12月	自治体問題研究所	住民と自治, 651, 6-10

(単著)	国民監視国家と親和性になる「地域共生社会」下の社会保障運動	2017年12月	中央社会保障推進協議会	社会保障, 475, 5-15
(単著)	高齢期を直撃する社会保障解体～医療介護改革の本質を読み解く(下)	2017年9月	全国老人問題研究所	ゆたかなくらし, 422, 26-32
(単著)	高齢期を直撃する社会保障解体～医療介護改革の本質を読み解く(中)	2017年8月	全国老人問題研究所	ゆたかなくらし, 421, 12-17
(単著)	高齢期を直撃する社会保障解体～医療介護改革の本質を読み解く(上)	2017年7月	全国老人問題研究所	ゆたかなくらし, 420, 10-15
(単著)	2017年医療保険制度改革の論点「我が事・丸ごと」地域共生社会の本質	2017年7月	全日本民主医療機関連合会	民医連医療, 539, 6-13
(単著)	【査読付】「我が事・丸ごと」地域共生社会が、医療・介護をどう変質させるか	2017年6月	日本医療福祉政策学会	医療福祉政策研, 1, 1, 7-22
(単著)	【査読付】「地域共生社会」の批判的検討	2017年4月	日本医療総合研究所	国民医療, 338, 1-8
(単著)	2017年医療・介護の改革の行方	2017年3月	中央社会保障推進協議会	社会保障, 470, 4-11
(単著)	「混合介護」弾力化は社会福祉分野産業化の第一歩	2017年3月	立教大学コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部紀要, 19, 27-38
(単著)	混合介護弾力化は社会福祉分野産業化を促し介護保険を空洞化する	2017年3月	東京保険医協会	診療研究, 525, 29-36
(単著)	Protecting Welfare in Japan - Keeping Article 25 of the Constitution of Japan Alive (原著: 英文、「社会福祉の発展と日本国憲法25条の果たす役割」)	2017年3月	立教大学コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部紀要, 18, 93-116
(単著)	ニュージーランド労働党第1期政権(1935-1940)と福祉国家	2016年11月	立教大学コミュニティ福祉研究所	コミュニティ福祉研究所紀要, 4, 35-52
(単著)	社会保障の基本原則を理解する	2016年8月	学習の友社	学習の友別冊, 18-27
(単著)	地域医療構想と医療費削減の飽くなき野望と医療・介護分野の産業化	2016年8月	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌, 44, 599, 18-23
(単著)	【査読付】ニュージーランド社会保障の概要と社会福祉改革の歪み	2015年12月	旬報社	賃金と社会保障, 1647, 4-24
(単著)	ニュージーランド社会保障の概要と課題	2015年11月	立教大学コミュニティ福祉研究所	コミュニティ福祉研究所紀要, 3, 99-121

(単著)	地域医療構想・地域包括ケア: 実際より低い医療需要で必要病床を推計し、医療費削減を狙う	2015年8月	医学通信社	月刊保険診療, 1507, 36-38
(単著)	患者負担増と公的給付抑制: 健康自己責任論と医療の市場化は、格差拡大と健康破壊を招く	2015年8月	医学通信社	月刊保険診療, 1507, 19-22
(単著)	社会保障費抑制と増税:消費 税ではなく富裕層と企業の負担増を財源に	2015年8月	医学通信社	月刊保険診療, 1507, 53-55
(単著)	医療保険制度崩壊を目指す 地域医療構想と保険医療 2035提言書	2015年6月	自治体問題研究所	住民と自治, 632, 30-35
(単著)	【査読付】 ニュージーランド の現行医療保険制度の問題 点と日本への示唆	2015年5月	旬報社	賃金と社会保障, 1634, 4-19
(単著)	ニュージーランドにおける現 行保健制度の特徴と課題	2015年3月	健康保険組合連 合会	保健連海外医療保 障, 105, 16-29
(単著)	【査読付】 TPP参加交渉と日 本の医療のゆくえ	2015年3月	ニュージーランド 学会	ニュージーランド研究, 21, 1-14
(単著)	【査読付】 健康・医療戦略と 介護保障の今後	2015年2月	旬報社	賃金と社会保障, 1627, 4-24
(単著)	規制改革と医療費適正化、そ して医療の未来は	2015年1月	医学通信社	月刊保険診療, 1502, 21-32
(単著)	安倍政権の医療・介護の市場 化を札す	2014年12月	中央社会保障推 進協議会	社会保障, 457, 8-17
(単著)	安倍政権が目指す医療・介護 戦略の方向性	2014年11月	東京保険医協会	診療研究, 498, 17-31
(単著)	安倍政権の医療・介護戦略の 方向性	2014年10月	自治体問題研究 所	住民と自治, 618, 6-11
(単著)	健康は自己責任か? 社会保 障解体は許せない	2014年10月	新日本婦人の会	月刊女性&運動, 387, 7-11
(単著)	直面する介護・医療・社会福 祉法人各制度改革の問題点 と課題を考える	2014年3月	全国老人問題研 究会	月刊ゆたかなくらし, 384, 18-22
(単著)	社会福祉法人制度には何が 求められるのか	2014年2月	全国社会福祉協 議会	月刊福祉, 97, 13, 12-17
(単著)	社会保障と税の一体改革と 医療	2013年3月	全国保険医団体 連合会	月刊保団連, 1118, 10-18
(単著)	孤立化する社会の病理	2012年12月	自治体問題研究 所	住民と自治, 506, 6-13
(単著)	小児看護における父親への アプローチ	2012年9月	へるす出版	小児看護, 35, 10, 1280-1286
(単著)	「子ども医療制度」創設で子 どもに健康と希望を	2010年7月	全日本民主医療 機関連合会	民医連医療, 455, 12-16

(単著)	病院に行けない子ども	2009年12月	新日本出版社	経済, 171, 46-55
(単著)	国民皆保険から国民「皆保健」へ	2009年2月	おかやま人間研究センター	人権裁判1, 3, 27-38
* 立教大学着任以降に公刊されたものに限って記載した。				
〈資料・研究ノート〉				
(単著)	医療保険における『一部負担』を再考し、未来を展望する	2019年6月	埼玉県保険医協会	埼玉保険医新聞, 580, 582
(単著)	健康は自己責任なのか	2019年5月	埼玉県保険医協会	埼玉保険医新聞, 579
(単著)	医療保険における一部負担の根拠	2019年1-3月	大阪府歯科保険医協会	大阪歯科保険医新聞, 1371~1377
〈学会発表〉				
(共同)	社会保障・介護保険制度改革に向けた国の2報告の意図を読み解く(シンポジウム 芝田英昭・佐藤嘉夫・矢部広明)	2019年1月25日	立教大学	全国高齢者問題研究会・社会保障政策研究会合同シンポジウム
(単独)	医療保険一部負担の根拠を追う…厚生労働白書では何が語られたのか	2019年12月8日	九州市立大学	日本医療福祉政策学会第3回研究大会
(単独)	地域医療構想の課題	2016年12月1日	京都橘大学	日本医療経済学会第40回総会
Alone (単独)	“Protecting Welfare in Japan – Keeping Article 25 of the Constitution of Japan Alive”	28 April, 2006 (平成28年4月28日)	Portland State University, USA.	Invitation Lecture of The PSU Center for Japanese Studies
(単独)	TPP交渉における米国の圧力と日本の医療への影響	2014年12月6日	佛教大学(京都)	第80回ニュージーランド学会研究大会
(単独)	小児がんの子どもの社会保障・社会福祉	2012年11月25日	群馬ベシア文化ホール	第53回日本小児血液・がん学会
(単独)	学童保育と社会保障	2012年10月7日	獨協大学(埼玉)	第47回全国学童保育研究集会
〈外部資金受給実績〉				
(単独)	社会福祉・社会保障の歴史と協同組合の役割 書籍: 芝田英昭著『くらしと社会保障』日本医療福祉生活協同組合連合会, 令和3年9月	2021年度	日本医療福祉生活協同組合連合会	500,000円
(単独)	東日本大震災における医療・介護現場の経験 書籍: 芝田英昭著『3.11を刻む——医療・介護現場から』文理閣, 平成25年6月	2012年度	日本医療福祉生活協同組合連合会	500,000円
(単独)	国民健康保険における無保険問題	2000年度	公益財団法人国民医療研究所	300,000円